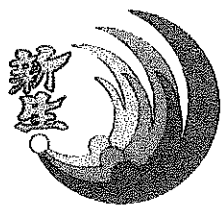


創立 15周年 ～夢と希望と笑顔あふれる新生小学校～



しんせい 5月号

<http://www.tachikawa.ed.jp/es20/>

メール: [tachikawaes20@seagreen.ocn.ne.jp](mailto:tachikawaes20@seagreen.ocn.ne.jp)

平成30年5月 1日  
立川市立新生小学校  
校長 野口 知義  
立川市富士見町6-69-1  
TEL 042-524-3148  
FAX 042-529-0993

### 「物事の過程（プロセス）を価値付ける大切さ」

校長 野口 知義

先日、6年生の書写（習字）の授業を参観しました。書写の指導は、学習指導要領の中で、「第5学年および第6学年では、年間30単位時間程度を配当する」と示されています。よく考えると、この時間数の指導で、目を見張るほど習字が上手になり、将来、学んだことが子供たちの生活に即、役立つかどうか疑問に思われる方もいるかもしれません。

授業の様子ですが、教室の後ろで見ていると、どの子も先生の説明に耳を傾け、おしゃべりをする子がいません。墨を硯に流し込み、筆を下ろし、書く際には丁寧に筆に墨を付け、心を込めて半紙に書いていました。目には見えませんが、集中して書くという活動によって教室全体の空気が変わっていくのです。子どもたちは敏感にその空気を感じ、ほどよい緊張感を味わっていました。

実は、習字の学習は、作品の出来映えも大切ですが、心を込めて書くという学習の過程に魅力があり、字を書く活動を通してたくさんの事を学んでいるのだと思います。日本の伝統文化に触れ、興味関心をもつ子供もいると思います。家でも年賀状を筆で書いてみようとする子もいるでしょう。書道のほかに日本の良さを再発見して、日本文化について学ぶ子もいるかもしれません。いずれにしても、目に見えない学習のプロセスに価値が隠されているのだと思います。

誰もが物事の過程（プロセス）は大事だということに異論がないところです。今さら、改めて言うことではないかもしれませんが、でも、子どもたちの毎日の日常生活に照らし合わせるとどうでしょうか。たとえば音楽、図工、体育のような技術が見えやすい分野、試験の成績、競技など勝敗が伴う分野は、まだまだ結果が評価されることが多くないでしょうか。

昨年、都内の高校野球部の監督からお話を聞く機会がありましたが、書写の授業を見て、その内容がオーバーラップし、思い出したので一部を紹介します。

#### （監督のお話）

「私は、野球人口が減っていることを危惧している。子どもたちは野球を楽しくやっているのだろうか。勝利至上主義の指導がまだ行われている。子どもたちは試合に勝つために、失敗すると怒鳴られる。褒められない。ピンチになるとエラーする。チャンスになるとバットが振れない。子どもの心境を考えると、結果を考えてやっているのではないかと思う。子どもたちの心の関係が野球離れにつながっているのではないかと思うことがある。子どもたちには心の解放が必要だと思う。試合の結果がいいときには、みんな焼き肉を食べに行こうと言う。でも、がんばっても負けてしまったら焼き肉を食べに行こうとなるだろうか？子どもたちがどれだけ頑張ったかを評価してあげることが大切なのではないか。

とは言っても実際には、一生懸命、練習しても試合に出場できるとは限らない。レギュラーと控え選手に分かれる。レギュラーで上手な子がプロ野球選手を目指しても本当になれる人はごくわずかである。私は、その現実の中で子供たちには、野球の練習を通して努力しても報われないことがあることを知らせている。でも、夢に向かって努力する過程（プロセス）は無駄ではない。価値のあることだということも強く伝えている。子どもたちには毎日基礎練習を繰り返す中で、野球の技術はアマチュアであっても心はプロになれと伝えている。プロとは最後まであきらめない。進んでいく進路は自分で決めていく。親の言いなりにはならないこと。この気持ちは、子どもが将来、自立するために大切な心となる。私は、子どもたちが高校野球に取り組む中で野球の楽しさと人間力を付けさせたいと考えている。（後半略）

監督（元、プロ野球選手）は自らの経験から私たち大人に子どもたちの育て方、接し方のアドバイスをしてくれているのだと感じました。子どもたちの将来は情報社会、少子高齢化を迎え、今までに体験したことのない負の体験に出会うことが予想されます。物事に取り組む時、頑張っても結果が出ないこともあるでしょう。もしかすると子どもたちは、それらの失敗経験から負の思考回路で物事を考え易くなるのではないかという不安があります。不登校や引きこもりにつながるケースも出てくることでしょう。

改めて結果も大事ですが、物事の過程（プロセス）を価値付けることの大切さを強く感じています。

## 5月の生活指導目標・・・友だちとなかよくしよう

○「さん」「くん」をつけてよぼう。

○温かい言葉をかけよう。

## 5月の保健目標・・・健康な体づくりをしよう

○病気を予防しよう。

○病気を早く見付けて治そう。

### 交通安全教室・自転車教室3年

4月26日(木)に、交通ルールの理解と交通事故にあわないための思考・判断・行動力を身に付けることを目的として、PTAの皆様、立川警察署、交通安全協会、多摩運送様にご協力いただき、交通安全教室を行いました。1・2校時は3年生の自転車教室(自転車の安全な乗り方)。3校時は1・2年生の歩行訓練。4校時は全校で交通事故にあわないための安全指導を行いました。

ご家庭でも交通ルールの確認や交通安全について、改めて話し合ってみてください。なお3年生は、あと3回自転車教室を行い、自転車の正しい乗り方について学習していきます。

第2回・・・6月16日(土)

第3回・・・9月8日(土)

第4回(検定日)・・・10月6日(土)

(※それぞれに予備日があります)



### 1年生を迎える会

4月20日(金)に、1年生を迎える会がありました。新1年生を温かい気持ちで迎え入れようと、代表委員が中心となって会を進行しました。代表委員が考えた新生小クイズ。6年生からの合格証のプレゼント。全校からの歌のプレゼントなど、1年生に喜んでもらえるよう取り組みました。1年生からは、お礼の言葉と「1年生になったよ」(「1年生になったら」替え歌バージョン)の発表がありました。とても温かい会になりました。

### 教育実習生の紹介

東京学芸大学教育学部の3人の学生が、5月21日(月)から6月8日(金)までの3週間、教育実習を行います。配置学級と指導担当教諭は以下の通りです。よろしくお願いいたします。

永坂 陸さん・・・2年1組(担当) 福田洋子主任教諭

廣瀬愛未さん・・・3年2組(担当) 宮岡 茜主任教諭

梶間祐花さん・・・5年1組(担当) 野村知義主任教諭

## 5月の行事予定

1日(火) 水曜時程 個人面談日 耳鼻科健診

2日(水) 離任式

3日(木) 憲法記念日

4日(金) みどりの日

5日(土) こどもの日

8日(火) 運動会係活動(5・6年)

9日(水) 避難訓練 4時間授業

10日(木) 眼科検診

11日(金) 委員長紹介集会 個人面談期間終  
委員会活動 全校たてわり班活動

14日(月) 水曜時程

15日(火) 日光移動教室説明会(6年保護者)

17日(木) 読み聞かせ 運動会係活動(5・6年)

18日(金) クラブ活動

21日(月) 教育実習始

22日(火) 運動会全校練習

24日(木) 運動会全校練習

25日(金) 安全指導 運動会前日準備

26日(土) 運動会

27日(日) 運動会予備日

28日(月) 振替休業日

29日(火) やご探り(3年)

31日(木) プール清掃(5年)

※運動会につきましては、別紙運動会のご案内をお読みください。